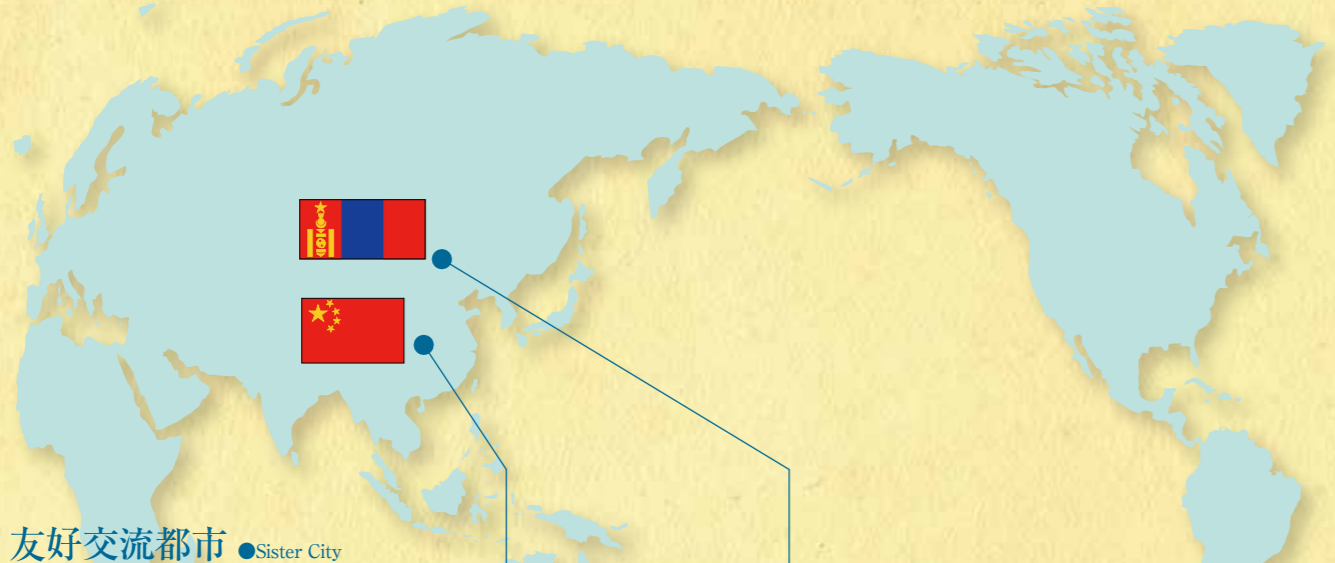


宮崎県 都城市市勢要覧

Miyakonojo City, Miyazaki Prefecture

新 城





友好交流都市 ● Sister City

中華人民共和国 重慶市江津区
 Jiangjin District, Chongqing, People's Republic of China

都城市と重慶市江津区は、日中戦争中の1940年に八路軍の将軍（聶榮臻＝1955年に元帥）が、日本人少女（梅美穂子さん＝市内在住）を救出したことが縁で、さまざまな交流を重ね、1999年に友好交流都市を締結しました。2009年11月には締結10周年を迎え、現在も、行政や民間レベルの交流で親睦を深めています。



Relations between Jiangjin District in Chongqing and Miyakonojo began in 1940 during the Second Sino-Japanese War when General Nie Rong Zhen of the Chinese Army saved the life of a young girl from Miyakonojo. This selfless act of courage lead to further exchange between the two cities, as well as the eventual signing of a Sister City agreement in 1999. Friendly relations between the two cities continue to grow through the efforts of various private organizations and administrations.

モンゴル国 ウランバートル市
 Ulan Bator, Mongolia

都城市とウランバートル市は、1993年にモンゴルへ風力発電機を贈るといふ民間の活動に始まり、その後、さまざまな民間レベルの交流を重ね、1999年11月に友好交流都市を締結しました。2009年11月には締結10周年を迎え、現在も、行政間交流、学術交流、民間団体・企業交流などを通して親睦を深めています。



Relations between Miyakonojo and Ulan Bator began in 1993 with the gift of a wind turbine generator provided by a Mongolian nongovernment organization. In conjunction with various acts of civil exchange, an official Sister City treaty was established in November, 1999. Friendly relations between the two cities continue to grow through the efforts of such private organizations and administrations.

「沿革」

明治4年11月14日
 改置府県により、都城県が置かれる。

明治6年1月15日
 美々津、都城両県を廃して、宮崎県が置かれる。

明治22年5月1日
 西町、上町、中町、下町、宮丸村、下長飯村、上長飯村が合併、都城町となる。

郡元村、川東村、金田村、高木村が合併、沖水村となる。

五十町村、横市村が合併、五十町村となる。

上水流村、下水流村、野々美谷村、丸谷村、岩満村が合併、志和池村となる。

安永村、西獄村が合併、庄内村となる。

安久村、梅北村、豊満村が合併、中郷村となる。

山之口村、花之木村、富吉村が合併、山之口村となる。

高城村、四家村、有水村、石山村、穂満坊村、桜木村、大井手村が合併、高城村となる。

山田村、中霧島村が合併、山田村となる。

大牟田村、縄瀬村、前田村、江平村、笛水村、東霧島村が合併、高崎村となる。

明治24年7月4日
 庄内村が庄内村と西岳村に分かれる。

大正13年4月1日
 都城町が都城市となる。

大正13年5月15日
 庄内村が庄内町となる。

昭和9年2月11日
 高城村が高城町となる。

昭和11年5月20日
 五十町村、沖水村を都城市に編入。

昭和15年2月11日
 高崎村が高崎町となる。

昭和28年1月15日
 山田村が山田町となる。

昭和31年7月15日
 庄内町と西岳村が合併、庄内町となる。

昭和32年3月1日
 志和池村を都城市に編入。

昭和39年11月3日
 山之口村が山之口町となる。

昭和40年4月1日
 庄内町を都城市に編入。

昭和42年3月3日
 中郷村を都城市に編入。

平成16年2月9日
 都城市、山之口町、高城町、山田町、高崎町1市4町による都城北諸県合併協議会を設置。

平成17年2月21日
 都城市、山之口町、高城町、山田町、高崎町が合併に調印。

平成18年1月1日
 新「都城市」が誕生。

目次

CONTENTS

- 1 市長あいさつ
- 2 友好交流都市・沿革
- 3 都城の3つの宝
- 宝Ⅰ 農林畜産業
 - 5 都城の誇り
 - 7 チャレンジして地域が輝く農林畜産業
- 宝Ⅱ 地の利
 - 9 恵まれた地
 - 11 地の利がもたらす救急医療体制と産業連携
- 宝Ⅲ 次世代を担う子どもたち
 - 13 夢ある人々
 - 15 子どもたちがのびのびと学べる教育環境づくり

- スマイルシティ都城
 - 17 笑顔あふれるまち＝スマイルシティ都城
 - 19 防災・減災を推進するまち
 - 21 健やかでいきいきと暮らせるまち
 - 23 産業支援で未来を切り開くまち
 - 25 スポーツを楽しむまち
 - 26 豊かな文化を育むまち

- 都城の見どころ
 - 27 肉と焼酎のふるさと・都城
 - 29 今に息づく都城の軌跡
 - 31 都城島津家と都城
 - 33 都城が誇る伝統的工芸品
 - 35 祭りが深める地域の絆
 - 36 受け継がれる地域の心
 - 37 都城の景色

都城市長
池田 宜永
 Mayor of Miyakonojo
 Takahisa IKEDA



都城市の木・花・花木
 City Flora Emblems

市民一人一人が郷土を愛し、豊かな自然を守り、美しいふるさとを育てるためのシンボル。



・ケヤキ
 Japanese Zelkova
 日本原産の高木で、建築材や家具材に用いられます。市勢発展を表現するような力強さと優美さを併せ持っています。



・アヤメ
 Iris Sanguinea
 山野や草地に自生する多年草で、初夏には紫色の美しく、上品な花を咲かせます。



・サクラ
 Sakura
 市内では母智丘公園や観音池公園などの名所があり、春には満開のサクラの花が人々を出迎えます。

「あいさつ」

「わたくしたちは、風光り、水澄む霧島の大地に生きる都城の市民です。」この市民憲章の前文に表されるように、当市は東に鰐塚山系、北西に霊峰霧島を仰ぐ三方を山々で囲まれた自然豊かな盆地に位置しています。歴史上では「島津家発祥の地」ともいわれ、時代とともに変遷を重ねながら、農林畜産業を中心に繁栄してきました。

平成18年1月には、近隣の1市4町の合併により新「都城市」が誕生。「南九州のリーディングシティ」を都市目標像に掲げ、産業・経済・教育・文化の拠点都市としてさらなる発展を目指しています。

当市には、「農林畜産業」「地の利」「次世代を担う子どもたち」という3つの宝があります。未来へと導くこれらの宝を輝かせるために、6次産業化の推進をはじめとする農林畜産業の振興に力を注ぐとともに、基幹道路の整備を進めることで地の利をさらに拡大させ、人間力あふれる子どもたちを育てていくことで、「笑顔あふれるまち＝スマイルシティ都城」を創り上げていきたいと考えています。

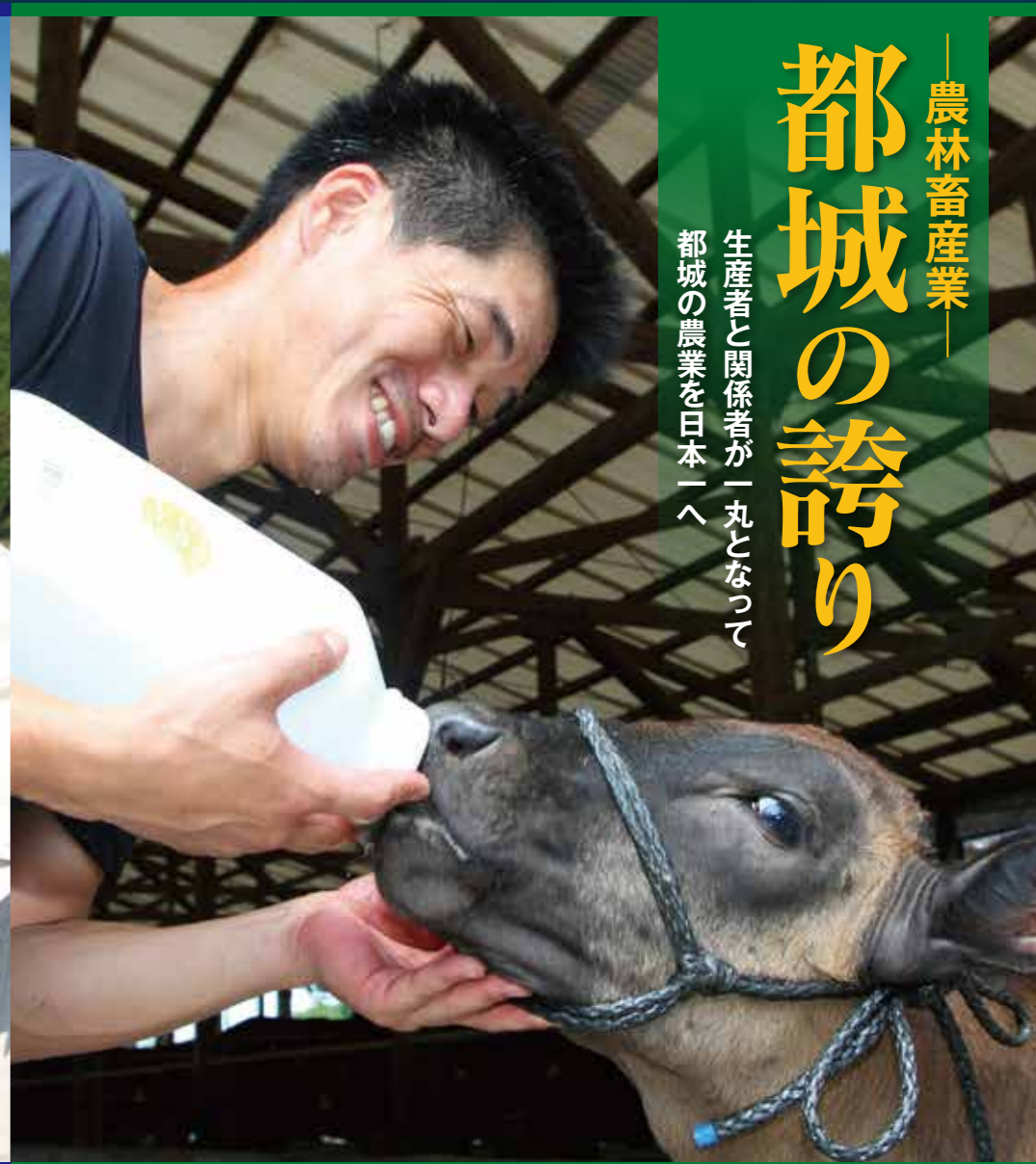
この市勢要覧を通して、当市の魅力やまちづくりについて、ご理解を深めていただければ幸いです。



次世代を担う子どもたち
夢ある人々
 人間力にあふれ、
 「ふるさと」を誇れる人に



地の利
恵まれた地
 恵まれた地理的環境を活かし、
 「防災の道」、「経済の道」、
 「医療の道」の拡大へ



農林畜産業
都城の誇り
 生産者と関係者が一丸となって
 都城の農業を日本一へ



都城PRキャラクター
 都城PR部長「ほんちくん」

笑顔あふれるまち = スマイルシティ都城

スマイルシティとは？
 自然に恵まれた都城で、市民が暮らしにも心にも豊かさを感じ、
 すべての人に笑顔があふれるまち。

都城の3つの宝

それは、基幹産業である「農林畜産業」、「地の利」、「次世代を担う子どもたち」。

Three treasures of Miyakonojo

「スマイルシティ都城」を支える3つの宝。
 それらの宝を未来へ輝かせる「鍵」は、基幹産業である「農林畜産業」の振興、「地の利」を
 生かすための基幹道路の整備、「次世代を担う子どもたち」の育成です。
 市民一人一人が輝くためのまちづくりを進めています。

都城の誇り

生産者と関係者が一丸となって
都城産宮崎牛を日本一へ



●和牛能力共進会 宮崎県大会
共進会で優秀な成績を収めた牛は、農家から熱い視線を送られます。



全国和牛能力共進会での上位入賞を果たすことで、高い市場性の確保と、地域の基幹産業でもある畜産業の発展に加え、地域経済への波及効果が期待されます。



●市場価値の高い都城産宮崎牛

全国和牛能力共進会 グランプリ獲得に向けた取り組み

和牛のオリンピックとも称される「全国和牛能力共進会」。当市は、全国でも有数の和牛一大産地としての誇りに懸けて、同共進会への出場と「宮崎県勢3連覇」の一翼を担うため、関係者と力を合わせて挑戦を続けています。

当市は、全国トップクラスを誇る肉用子牛の生産能力を最大限に生かし、平成25年度に新たに発足した和牛共進会出品対策協議会を中心に、中長期的な計画に基づいた取り組みを進めています。その中で、共進会に出品するための基盤となる次世代エース級種雄牛を、当市から産出するための対策、優

秀な共進会出品牛を生み出すための対策、共進会に出品するにふさわしい牛に仕上げる技術を習得するための対策に重点を置いています。全国和牛能力共進会への出場と上位入賞を果たし、名実ともに日本一の和牛産地の地位を確立するための努力を続けています。



畜産農家の愛情を受けて育った子牛が、適正な管理により都城産宮崎牛へと成長します。

Nation's agriculture, forestry, and livestock industries

The National Wagyu Competitive Exhibition has also been called the Wagyu (a breed of black Japanese cattle) Olympics. As a leading producer of Wagyu in Japan, Miyakonojo's ongoing participation in the event towards a third prefectural victory continues with the hard work and support of members involved in the competition. As top class producers of calf meat, mid-term based plans to bring about maximum production efficiency are underway. Therein, strategic measures directed towards utilizing Miyakonojo as a birth place for next generation, tournament-quality bulls, as well as measures to promote and acquire knowledge/techniques for raising cattle are continuing with the goal of becoming Japan's number one producer of Wagyu.

都

都市の畜産は、市の農業産出額の約8割を占め、肉用牛の飼養頭数は、県内で最多を誇ります。

当地域の子牛取引の拠点となる都城地域家畜市場での取引頭数は、全国トップクラス。その取引価格も全国平均より高値で推移しています。このことは、生産農家や肥育農家をはじめとする関係者の努力の積み重ねが「都城産宮崎牛」として認められ、県内外から高い評価を得ている結果です。近年は、農業従事者の高齢化や飼料価格の高騰など、大変、厳しい経営環境が続いていますが、畜産農家は、担い手の確保や自給飼料の生産拡大などに活路を見出



毎日、牛の観察に気を配り、健康状態や病気の早期発見に努めています。

し、飼養頭数の維持や安全安心な畜産物の提供に積極的に取り組んでいます。

また、当市では、過去に発生した口蹄疫を教訓として、地域一体となった防疫体制が構築された「家畜防疫日本一」のまちを目指しています。

The pride and joy of producing

Within Miyazaki prefecture, Miyakonojo is the highest ranking city for the cultivation of livestock which accounts for 80% of its Agricultural yields. The price for this top class cattle sold through the Miyakonojo Regional Livestock Market has shifted to become higher than the average national price. Through the accumulation of great efforts made by local farmers, this high quality product has been distinctly recognized both within and outside of Miyazaki beef produced in Miyakonojo. In reaction to the previous breakout of foot and mouth disease, Miyakonojo aims to become the top ranked region for the establishment of animal safety and communicable disease control.

都城産宮崎牛生産者の 誇りと育てる喜び

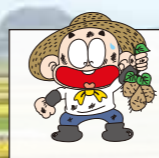


チャレンジして 地域が輝く農林畜産業

都城市の農業は、農業産出額の約8割を畜産業が占めていることが特徴です。また、古くからお茶や里芋、焼酎用原料カンショなどの栽培も盛んで、全国でも有数の農業産出額を誇ります。

温 暖な気候に恵まれた当市は、南九州の食料供給基地として中核を成しています。品目別では肉用牛や豚、ブロイラーが盛んで農業産出額の約82%を畜産部門が占めています。また、古くから名産として知られるお茶や土もの野菜（カンショやゴボウ、里芋、ラッキョウ）の栽培も盛んで、近年は雨除け・加温ハウスによるキュウリなどの果菜類の栽培も定着しているほか、キンカンやマンゴーなどの果樹栽培も行われています。さらに、畑地かんがい事業を進め、水を安定的に確保し、農業従事者が作物を計画的に選択、生産できる体制を確立させるなど、農業経営の安定化に取り組んでいます。

Agriculture, forestry and animal husbandry industries are making the region shine
With the advantage of a relatively mild climate, Miyakonojo is one of the main food suppliers for Southern Kyushu. With a livestock industry accounting for roughly 82% of Agricultural production value, popular commodities include Beef, Pork, as well as Chicken. Long-time cultivated local produce includes Japanese Tea, as well as a selection of root vegetables such as Sweet Potato, Burdock, Taro and Shallots. In recent years, the cultivation of greenhouse fruits and vegetables like Cucumber, Kumquat and Mango has also been established.



みやこのじょうの夢

畑地かんがい営農に取り組んでいます

平成25年の実証実験で、焼酎用原料カンショ30aとカボチャ20aの栽培に畑地かんがい用水を利用しました。カンショは、散布していないところに比べて25%の収量増、カボチャは、種をまいた後の散水で発芽が良好となりました。この年の夏は、雨が少なかったため、特に効果を実感しました。畑地かんがい営農に取り組むことで、天候に左右されない農業が可能となり、経営の安定化が望めるものと、期待しています。

●重富 保さん



●観音池ポークのメンチカツ

農業の未来を切り開く 6次産業化

生産から加工、販売までを一体的に取り組む6次産業化の推進で、都城市の農林畜産業の未来を切り開く。

全 国でも有数の農業産出額を誇る当市。また、焼酎や乳製品、みそ、しょうゆなどの発酵・醸造技術を持った企業をはじめ、多くの食品関連企業が立地しています。これらの企業は、市内で生産される豊富な農林畜産物を利用した加工品を製造しています。これまでの農林畜産業は、収穫した生産物を市場出荷することが一般的でした。当市は、その点に伸びしろを見出し、農林畜産業者が主体となって加工や販売を行うことで生産物の付加価値を高める6次産業化を強力に押し進めるため、6次産業化推進事務局を設置しました。

同事務局では、一つの事業者のみで加工や販売に取り組む6次産業化と合わせて、農林畜産業者と加工技術や経営ノウハウを持った商工業者などのマッチングを進め、両者の連携による6次産業化も推進しています。6次産業化に取り組むことで、農林畜産業者の経営規模拡大や所得の向上が図られることはもちろん、農業生産や加工現場での新たな雇用創出も期待できます。そして、6次産業化は、農林畜産業や商工業だけでなく、健康や医療、介護、福祉などのサービスと結び付くことで、新しい産業へ発展する可能性も秘めています。

Opening the future of agriculture through Combined Production and Marketing Initiative Promotion

From production and manufacturing to processing and marketing, the Combined Production and Marketing Initiative is the driving force behind the future of Miyakonojo's agriculture, forestry and livestock industries.

Miyakonojo boasts the leading gross agricultural production value in Japan with a variety of industries possessing highly developed brewing and fermenting techniques. This area is home to the production of shochu, dairy, soy sauce, as well as many other affiliated foodstuff businesses which utilize an abundance of local agricultural and livestock resources.

It was common for agriculture, forestry, and livestock industries to simply sell finished products after they were harvested. Giving attention to this matter,

Miyakonojo has established a Combined Production and Marketing Initiative Promotion Division focused on exploring the possibility for added value in the manufacturing and selling of food.

With the introduction of a Combined Production and Marketing Initiative Promotion Division, a certain magnification in the scope of agriculture, forestry and livestock management, as well as an increase in earnings will take place. In addition to this, a rise in job opportunities within the agricultural manufacturing and processing sectors can be expected.

The Combined Production and Marketing Initiative Promotion Division is not only comprised of commerce and industry, but is also connected to health/medical care, nursing and welfare services, as well as the possibility of future occupation development.

恵まれた地

優れたアクセスを生かした
南九州の物流拠点都市を目指して

物流拠点都市

宮崎市と鹿児島市の間に位置する都城。圏域の経済人口が23万人を超える陸・海・空からのアクセスに優れた南九州の物流拠点都市です。

「陸」のアクセスは、九州縦貫自動車道宮崎線や、5本の国道をはじめとする主要地方道が整備され、JR日豊本線・吉都線の2本の鉄道が走っています。「海」と「空」のアクセスは、40km圏内に国の重要港湾である宮崎港と油津港があり、また、宮崎空港と鹿児島空港があります。さらに、整備が進む地域高規格道路「都城志布志道路」によって、国際バルク戦略港湾志布志港と直結することで、そのエリアは世界に広がります。

当市では、このような物流の拠点としての機能をより一層高めるため、九州縦貫自動車道宮崎線の山之口SASマートICや、都城インター工業団地の整備などを戦略的に進めています。



●都城ICより志布志方面(完成予想図)
The direction of Shibushi from Miyakonojo IC (Architectural rendering)

Goods distribution hub

With a financial population currently exceeding two hundred thirty thousand people, easy access to the city via the sea, the sky, as well as land routes make Miyakonojo an economic hub for goods distribution. On-going maintenance of the "Miyakonojo Shibushi Road" in accordance with the high standard of regional highways now connects Miyakonojo with the International bulk strategic port of Shibushi. This is an area expected to expand around the world.



●鹿児島空港 Kagoshima Airport

●宮崎空港 Miyazaki Airport

●志布志港 Shibushi port

●都城志布志道路 (平塚IC~五十町IC)
Miyakonojo Shibushi road (Hiratsuka IC ~ Gojitcho IC)

防災の道

後方支援都市

発生が懸念される南海トラフ巨大地震。万が一発生した場合、宮崎県内では日向灘沿岸を中心に、甚大な津波被害が想定されており、沿岸市町村の大きな課題となっています。

当市は、南九州の中心に位置し、九州縦貫自動車道宮崎線や国道10号などの主要交通網に加え、

現在、都城志布志道路の整備が進められており、このような大規模災害発生時に後方支援拠点としての役割が期待されています。

当市では、「地の利」と、新燃岳噴火や大雨など、これまでに発生した災害への対応能力を最大限に生かし、関係機関などと連携して「防災・減災」の拠点としての取り組みを進めています。



A city focused on disaster prevention
In the case of a Nankai Trough Earth Quake, large-scale Tsunami damage centered around the Hyuga shoreline is assumed to occur. If such a large-scale disaster were to take place, expectations would be placed on Miyakonojo as a main provider of support for the coastal cities and towns in the area. Prevention and limitation of future disasters such as Mt. Shinmoedake eruptions and heavy rain fall are a top priority for the city of Miyakonojo. In cooperation with other Miyazaki Prefectural organizations, disaster response will be carried out to the absolute best of our abilities.

地の利がもたらす 救急医療体制と産業連携

A geographical advantage which brings Industrial cooperation and a system of emergency aid



●県内1位の製造品出荷額
国内有数の食料供給基地として、豊富な農畜産物とそれらを活用した食料品や飲料製造業が数多く立地しています。アクセスに恵まれた都城IC周辺に、県内最大規模の「都城インター工業団地」を整備。製造業と物流の拠点として、より一層、発展する可能性を秘めています。



●救急医療体制

都城志布志道路の整備が進み、初期救急医療施設である都城夜間急病センター、二次救急医療施設である都市部医師会病院や国立病院機構都城病院への搬送時間が短縮。さらに、九州縦貫自動車道宮崎線を利用することで、三次救急医療施設である宮崎大学附属病院や県立宮崎病院とつながり、高度救急医療を受けられる環境が整います。



●二次救急医療施設 都市部医師会病院 完成予想図
Secondary emergency medical facilities
Miyakonojo medical association diagram of expected hospital layout

医療の道

都

都城圏域の救急医療は、都城夜間急病センターと都市部医師会病院、都城健康サービスセンターへ総合的に集約され、24時間365日、切れ目のない医療体制が整備されています。これらの施設は老朽化に伴い、平成27年春に、九州縦貫自動車道宮崎線都城IC、都城志布志道路都北IC（予定地）から数分のエリアに施設全体の移転を予定。移転完了後は、都城圏域の人口重心点に近くなることに加え、国道10号や国道221号からのアクセスも向上することから、近隣医療圏からの受診もしやすくなります。

minutes from the Miyazaki-Miyakonojo expressway and Miyakonojo Shibushi road Tohoku Interchange (target location) in 2015. Upon completion of this transfer, in addition to becoming closer to the Miyakonojo Kitamoro population center, improved access to neighborhood medical facilities via the number 10 and number 221 highways will be established.

The Field of medical care

The emergency medical system of the Miyakonojo Kitamoro area is a comprehensive integration of the Miyakonojo Emergency Medical Center, Miyakonojo Medical Association Hospital, and the Miyakonojo Health Service Center, which offers non-stop medical treatment 24 hour a day, 365 days a year. With the current antiquated state of these buildings, plans are in place to fully transfer these facilities a few

経済の道

農

業が盛んな都城。特に、平成18年の畜産部門の産出額は、肉用牛・豚・鶏の全てが全国第1位で、国内有数の食料供給基地です。一方、製造品出荷額も県内第1位（平成25年）であることから、農業・工業分野ともに、高い可能性を秘めています。

この特徴を最大限に生かすには、九州縦貫自動車道宮崎線と、整備が進む都城志布志道路で形成される高速交通のネットワークの完成が不可欠です。特に、畜産飼料の多くは、国際バルク戦略港湾である志布志港の配合飼料工場から供給されており、当市と志布志港が都城志布志道路で結ばれ、物流の効率化・高速化が図られることで、輸送コストの圧縮や飼料の安定供給につながります。

また、空港や港湾などへの多様なアクセスを可能にするこの高速交通ネットワークは、交通・物流の利便性を追求する企業活動において最も重要なインフラであり、企業立地や新たな雇用の創出に加え、当市が力を入れている6次産業化の推進にも大きく貢献します。

さらに、山之口SASマートICは、歴史やスポーツなどを取り入

The Field of Economics

Miyakonojo is a city with a thriving agricultural industry. Statistics indicate that the beef, pork, and chicken produced here are ranked number one in the country, making Miyakonojo a prominent source for food in Japan. In addition to this, the city displays a high potential within its Manufacturing Industry, with the value of manufactured goods shipped from Miyakonojo reaching number one in Miyazaki Prefecture (2011). In order to utilize such attributes to the fullest extent, the completion of a high-speed transportation network through establishment of the Miyakonojo Shibushi road via the Miyazaki Expressway is essential.

れた観光振興の面で、当市の新たな玄関口としての役割も期待されます。整備が進む高速交通ネットワークは、都城圏域を支える経済の道であり、東九州自動車道が整備されることで、その機能が一層強化されます。



●都城インター工業団地 穂満坊地区
The Miyakonojo interchange industrial complex Homan area

企業立地を万全の体制でサポート

市内に工場などを新設または、増設する事業者に対して優遇制度を設けています。

| 固定資産税の免除 | 雇用奨励金 | 用地取得補助金 | 関連施設整備補助金 | 環境施設等整備費補助金 | 情報サービス施設およびコールセンター施設のみ | | |
|-----------------------|--|--|------------------------|---|---|--|---|
| | | | | | 賃料補助金 | 通信回線使用料補助金 | 施設整備補助金 |
| 3年間免除 (土地・建物・償却資産) | 1人20万円 ※限度額2,000万円 雇用増加100人以上 1人30万円 ※限度額3,000万円 【情報サービス施設】 1人50万円 ※限度額1億円 【都城インター工業団地】 穂満坊地区 1人50万円 ※限度額なし | 用地取得費の50% ※限度額5,000万円 【高木・石山工業団地】 ※限度額1億円 【都城インター工業団地】 穂満坊地区 雇用増加100人未満 ※限度額1億円 雇用増加100人以上 ※限度額2億円 雇用増加200人以上 ※限度額3億円 雇用増加300人以上 ※限度額なし | 事業費×50% ※限度額2,000万円 | ※都城インター工業団地 穂満坊地区のみ 事業費×50% 雇用増加100人未満 ※限度額2,000万円 雇用増加100人以上 ※限度額3,000万円 雇用増加200人以上 ※限度額4,000万円 雇用増加300人以上 ※限度額1億円 | 賃料×50% 限度額100万円/月 ※コールセンター施設 は2年間、情報サービス施設は3年間 雇用増加100人以上 限度額なし ※コールセンター施設 は3年間、情報サービス施設は5年間 | 専用通信回線年間 使用料×80% ※県補助金を併用の 場合50% 限度額500万円/年 (3年間) ※情報サービス施設 は雇用増加5人以上、 コールセンター施設 は雇用増加30人以上 | 施設整備費×25% 限度額1,000万円 (1㎡当たり 25,000円以内) ※情報サービス施設は 雇用増加5人以上、 コールセンター施設は 雇用増加30人以上 |

夢ある人々

人間力にあふれ
「ふるさと」を誇れる人に



●家庭の日
毎月第3日曜日は、家族の絆を深める「家庭の日」。当市では、家族を対象としたイベントなどに、市の施設を優先的に開放しています。



●横市地区まちづくり協議会の活動風景



●子どもフェスティバル



世 界に羽ばたく人材を育成するため、当市では、基礎学力の向上はもちろん、英語教育の充実も図っています。語学力の向上や、豊かな国際感覚を身に付ける機会を増やすために、ALT（外国語指導助手）を増員。基礎学力の向上のため、小・中学校に学校図書館サポーターを増員するなど、児童・生徒の読書環境の充実も図っています。

また、郷土愛にあふれる子どもを育てるため、地域の祭りや行事に参加する郷土教育を進めています。合わせて、第3日曜日を「家庭の日」として、家族の絆を深める取り組みを進めており、各地区のまちづくり協議会では、子どもたちの意見もまちづくりに反映させています。

Dreamers

In efforts towards human resources development, Miyakonojo is focused on improving basic scholastic achievement, as well as English education. In order to increase language ability and opportunities to acquire international awareness, the number of Assistant Language Teachers in Miyakonojo has been increased. In addition to this, Elementary and Junior High School library support personnel have also been increased in order to create an environment which promotes literacy. Also, local education designed to build a Miyakonojo which children can grow to love through participation in regional festivals and events continues to develop.

地域住民が主役 まちづくり協議会

近 年、生活様式や個人の価値観が多様化し、「お互いに助け合い、協力する」といった地域住民同士のつながりが希薄になりつつあります。そこで、当市では地域コミュニティの充実や強化を図るため、協働のまちづくりを推進しています。その柱として、地域住民が中心となって身近な課題を自ら解決し、また将来のあるべき姿を検討する地域密着型の住民自治組織「まちづくり協議会」が各地区に設立されています。

Local residents are the leaders in making our town
In recent years, a diversification of personal value and lifestyle based on a system of "mutual aid and cooperation" among fellow local residents has become estranged. Accordingly, in order to develop local Miyakonojo communities, self-governed Community Development Councils are being established in each district. With local residents playing a central role, these councils work towards resolving local issues while investigating possible improvements for the future. Several characteristic events and functions organized through these Community Development Councils include student music festivals, handicraft classes given by senior citizens, as well as health walks. These organizations are also involved with activities concerning daily affairs such as the production of welfare maps, cleaning activities, as well as children and senior care.

各地区の 特色を生かした 教育活動

地 域の課題は、地域で解決するため、各地区に設立されたまちづくり協議会の支援を行っています。同協議会は、人や名跡などの資源を活用した各種イベントを開催。子どもが主役の音楽祭や高齢者が講師の工作教室、健康ウォーキングなど各地区の特色を生かした催しを行っています。また、福祉マップの作製や清掃活動、子どもと高齢者の見守りなど、地域の実情に合った活動を行っています。



●五十市地区まちづくり協議会活動



●見守り隊



●郷中教育



●論語教育



●どんぐり村「こども自然塾」

歴史や自然を 生かした教育

益 地に位置し自然豊かな当市の教えが連綿と受け継がれてきました。市内のNPO法人では、青少年の心身鍛錬のために鹿児島藩で行われていた「郷中教育」を取り入れ、論語教育や道徳教育を行っています。また、子どもの頃から自然の中で、自分の手でつくった遊具で遊び、助け合う心や譲り合う心、想像力を培っています。

Education that takes advantage of history and nature

Since the Kamakura Period, the naturally abundant Miyakonojo has maintained a continued education of Shimazu history. Within Miyakonojo, teaching methods passed down from the Edo Period (Kagoshima Province) used to discipline and train the mind and body of Japanese youth such as the Analects of Confucius and the Goju book of poems continue to be utilized. Also, children from a young age are brought up playing in nature, and fostered to develop a sense of cooperation, mutual compromise, and creativity.

子どもたちがのびのびと学べる教育環境づくり

都城学校教育ビジョンでは「たくましいからだ」「豊かな心」「すぐれた知性」「ふるさと教育」を4つの柱に掲げ、学校だけでなく地域も協力して、人間力あふれる子どもの育成に取り組んでいます。

次 世代を担う子どもたちを育てるため、外国語指導助手（ALT）を配置し、子どもたちに語学力や豊かな国際感覚を身に付けてもらうとともに、小・中学校の図書館に学校図書館サポーターを配置して、本に親しめる環境づくりに取り組んでいます。

また、子どもの豊かな心を育み、ふるさと教育を進めるため、地域に開かれた学校「コミュニティ・スクール」の実現を目指して、市内全ての小・中学校に「学校運営協議会」を組織しました。合わせて施設面では、地震対策を喫緊の課題として捉え、年次的に全小・中学校の耐震化に取り組んでいます。

Building an educational environment which allows children to grow
Children are the future of Miyakonojo. Increased numbers of Assistant Language Teachers (ALTs), as well as Elementary and Junior High School library supporters have been arranged in order to develop a strong international awareness among Miyakonojo's younger generation, as well as to form a close relationship with literature and foreign languages. To foster a rich heart among children, and to advance local education, Miyakonojo aspires towards the goal of establishing School Management Councils in each community within the city.



●ALT 授業風景

スマイルリレー みやこのじょうの夢
食育の推進活動を行っています

小・中学校、高校で食育講座や料理教室を行っています。全ての料理を手作りするのは難しい時代ですが、生産者や作り手との交流を大切にしながら、手軽で便利なものも活用して、健康づくりに役立ててほしいです。また、四季の食材を使った季節感のある「家庭の行事食」の魅力を伝えていきたいと思ひます。

食生活改善推進員・宮崎県食育推進リーダー
●田代 昌子さん

みやざきの食と農を考える県民会議
北諸県支部事務局=北諸県農林振興局

地域とともにある学校 コミュニティ・スクール

地 域とともにある学校づくりを目指して、当市では、平成25年度に市内全ての小・中学校に「学校運営協議会」を設置。同協議会は「協働」をキーワードに、学校と地域は共存関係にあると捉え、地域の人々を講師に招いてキャリア教育を行ったり、ボランティア活動への参加を促したりして、積極的に地域貢献しています。「ボランティアマスター認定制度」を導入した学校では、生徒のボランティア活動が活発になり大きな成果を上げています。



●ブックトーク

学校図書館サポーター

学 校図書館の活用を促すために、平成22年度、児童の読書活動の充実を図ることを目的とした「学校図書館サポーター制度」を導入しました。

その活動は、教職員と連携しながら図書館の環境づくりや、読み聞かせ、ブックトークなどのサポートを行っています。その結果、学校図書館を利用する児童が増え、本に親しみ、読書が習慣化した子どもが増えるなど、確かな成果が表れています。



●豆本作り

●読み聞かせ

School library supporters
The Institution of School Library Supporters was introduced to Miyakonojo in 2010 in efforts to develop an interest in reading among Elementary School students. Public reading sessions, and book introductions are a few activities which are being carried out the cooperation of teaching staff. As a result, users of library facilities have increased, as well as a desire towards reading.



●ゲストティーチャーを活用した授業

Schools that are rooted in the community
Miyakonojo is working towards the establishment of Elementary and Junior High School Management Councils in each community for 2013. Using "coproduction" as a keyword, these councils perceive the relationship between school and community to be one of coexistence. By encouraging community members to provide guidance towards career education, as well as volunteer opportunities, a sense of connectivity among local life can exist.

「伝統、歴史、自然」
世代を超えて受け継がれる



「肉と焼酎のふるさと」
日本一の味わい

「スポーツ・文化」
楽しさと喜びを与える



「医療・福祉」
支え合う環境づくり



「防災・安全」
安心と安全を人から人へ



「地場産業」
地域の価値を見つめる



人生を豊かに 市民に笑顔と感動を与えるまち

いま都城では、人と伝統、歴史が交わり、
ひとつに解け合い、新たな魅力と輝きが
生まれてきています。

笑顔あふれるまち スマイルシティ都城

"Smile city Miyakonojo" which is full of a smiling face

自然に恵まれ、市民が暮らしにも心にも豊かさを感じ、
すべての市民に笑顔があふれるまち。

Living among the lush natural landscape of Miyakonojo, we strive to create an
environment in which residents may be fulfilled both in lifestyle and within their
hearts; a place overflowing with happiness and smiles.

防災・減災を推進するまち

自助・共助・公助のバランスがとれた取り組みで、未来へつながる「防災・減災」のまちづくりを推進しています。

安心と安全を人から人へ

Safety and Secure, from one person to another



●救護訓練

期待が高まる防災 拠点都市としての役割

自 助・共助を原則として、自主防災組織の結成促進や、活性化を通して防災に取り組んでいる当市。

具体的には、市民や事業所などを対象にした出前防災講座などの啓発活動による「自助」の推進、災害图上訓練や自主防災訓練を通じた「共助」の推進を通して、市民の自主防災意識を高め、安全・安心な住みよいまちづくりを進めています。



●防災訓練（高崎総合公園）

The rising expectations of Miyakonojo as a foundation for disaster prevention
When a disaster occurs in Miyakonojo, it is expected as a general rule that one must protect themselves while cooperating with those around you. The organization of disaster prevention programs targeting Miyakonojo residents and businesses such as the Emergency Delivery Course, and the Voluntary Disaster Prevention Organization work towards creating a safe and secure city for everyone.



都城市は、これまでも、新燃岳の噴火をはじめ多くの災害を経験してきました。いつ起こるか分からない災害に対しては、自分の命は自分で守る「自助」、自分達の地域は自分達で守るという「共助」の取り組みが何よりも大切です。そのために、防災担当職員として精一杯サポートし、そこに「公助」の取り組みを連携させ、災害に強い都城市の実現を目指しています。

総務部危機管理課 防災担当
●新牛込 啓太さん



ボランティア活動の原点 消防団 世代を越えた絆が地域を守る



消

防団は、本業を持ちながらの安全を守るために活動している人が集まる消防機関の一つ。火災や地震などの災害発生時に救助や救援活動に当たるだけでなく、日頃から災害に備えた訓練や、火災予防のための啓発活動などを行っています。

消防団員は、地域住民によって組織されているため、地域の事情にも詳しく、市民にとっては安全な暮らしを守る、最も身近で頼りになる存在です。現在、市内では、約1,450人の消防団員が活動していて、その中には、23人の女性団員も活躍しています。



都城市消防団 副団長
山元寿一さん

災害時に役立つ防災の基本は「つながる」ことです。地域の人たちが、子どもから大人まで「つながる」ことができるかが、災害時の生死を分けます。そのつながりを最も重視した活動を展開し、当市の市民の安全と安心を絶えず見守っているのが、都城市消防団です。

The bond between the generations protects the region
The city fire department is comprised of volunteer fire fighters who protect and maintain regional safety. This fire brigade is not only involved in rescue and relief operations during disaster breakouts, but also in habitual education regarding fire prevention and disaster training. Using their in-depth knowledge of regional conditions, this locally organized fire brigade fights to protect the safety of Miyakonojo citizens by providing them with a familiar source to rely upon in times of need. Currently, there are approximately 1,450 active members of the fire department, including 23 female members. The strength of communal ties is a determining factor during life and death disaster situations. Thoughtful consideration of these ties towards the development of future programs designed to protect the safety and wellness of Miyakonojo residents is a main priority for the fire department.



年齢を重ねても健康を 安心サポート



Support and safe of mind for the elderly

Since 2006 the establishment of the Miyakonojo Comprehensive Municipal Support Center has provided local residents with necessary support in lifestyle stability, as well as the preservation of mental and physical health. This center provides comprehensive support to senior citizens and their families through an all-purpose consultation area which serves to address various matters such as the prevention of elderly abuse and care management. Focused on the development of an extremely high aging population, we strive to accurately grasp the various needs and issues of our residents. We hope to further strengthen our relationships with relevant organizations in order to provide detailed responses to such concerns.

保 健医療の向上と福祉の増進を目的に、当市では平成18年から地域住民の心と体の健康維持と生活安定のために必要な支援を行う「地域包括支援センター」を設置しています。

同センターは、高齢者に関するさまざまな相談を受け付ける「よろず相談所」ともいえます。具体的には、地域の高齢者やその家族からの相談を受け付けて支援につなげるほか、高齢者の虐待防止や成年後見制度のために継続して包括的ケアマネジメントを行っています。同センターには、保健師や主任介護支援専門員、社会福祉士などが配置され、相互に連携を図り、業務に当たっています。

今後、進展する超高齢社会を見据え、地域住民の幅広い課題やニーズを的確に把握し、関係機関と連携強化しながら、きめ細かな対応を目指していきます。



地域包括支援センターで行う健康相談

支え合う環境づくり

Medical treatment and welfare

医療
福祉

健やかでいきいきと暮らせるまち

A lively and healthy city

いつでも健康で安心して住み続けられるまち
子どもたちの健やかな育ちを応援



●山之口子育て支援センター
(ケアホーム訪問)

安 心して子どもを産み、育てられる社会。その実現のために、妊産婦・乳幼児健診などの充実、保育所や幼稚園などによる保育サービスの充実を図っています。また、放課後児童クラブなどを拡充し、子どもの安全な居場所を確保しています。

このほか、都市子ども基金を創設。子育て環境を整えるために、子育て支援グループなどが自ら行う事業を支援しています。



●乳幼児検診

Support provided to raising all children

Miyakonojo has directed efforts towards the realization of a society in which children can be born and brought up safely by providing health examinations for expecting and nursing mothers, as well as the implementation of nursery school, kindergarten and after-school programs for kids. In addition to this, support has also been directed towards the Miyakonojo City Children's fund. This program raises money through multiple projects and businesses in order to create a cheerful and healthy environment for raising children.



スマイルリレー みやこのじょうの夢

子ども一人一人と向き合う子育て支援

子どもの目線に立ち、一人一人と向き合ってコミュニケーションをとり、思いを受け止めることを心掛けています。また地元の民俗芸能「奴踊り」をいろいろなイベントで披露するなど、地域との関わりを大切にしています。これからも、身体を使った遊びなど、男性ならではの保育を大切にしながら、子育てしやすいまちづくりに貢献したいと思います。



高城保育所 保育士

●中吉 純也さん



産業支援で未来を切り開くまち

昔ながらの手法と伝統を重んじつつも、新たな技術を追いかけて自己研鑽に努める技師たち。当市は、地域の産業を支える人材を応援します。

地域の価値を見つける

Local industry



●市内で生産される発酵・醸造製品

農業・商業・工業が連携 新たな価値を生み出す
食 肉加工品や乳製品、焼酎製造などの産業が盛んな当市は、全国有数の食料供給基地として知られています。また、竹弓や木刀などの伝統的工芸品からタイや、家具、お茶の製造など幅広い産業が盛んです。さらに、6次産業化や農商工の連携による新商品やサービスの開発、地域資源を生かしたフードビジネスへの取り組みなども始まって、地場産品の付加価値を高めるための取り組みを推進しています。



●醤油づくり

Creating new value through cooperation with the agricultural, commerce and industrial industries
 With thriving industries in meat, dairy, and Shochu production, Miyakonjo is known as a primary supplier of national foodstuffs. Several other prospering industries include the manufacturing of traditional Japanese archery bows, wooden swords, furniture, as well as Japanese tea. Through continued cooperation with farmers, commercial and industrial workers, new local products and services with added value have begun to develop through the promotion of this food business.



スマイルシティ みやこのじょうの夢

企業と働く人をマッチング

都城市では、市内で働きたい人と人材を求める企業の出会いの場として、毎年就職説明会を開催しています。企業にとっても、さまざまな人材が集う就職説明会は、新たな人材を発掘し、獲得する千載一遇のチャンスです。当市では、企業と市内の豊富な人材のマッチングに積極的に取り組んでいます。



商工観光部商工政策課工業立地担当

●鬼東 洋一郎さん



妥協なきこだわりが 愛される焼酎を生み出す



宮

崎県は、鹿児島県や大分県と並び、全国でも有数の焼酎産地として知られています。都城市が「本格焼酎発祥の地」であることは、意外と知られていません。

1949年の酒税法で「甲類・乙類」の分類呼称が定められました。甲乙の呼称は、等級や順位を示す表現としても使用されるため、乙類が甲類に劣ると誤解されかねなかったことを危惧した、2代目霧島酒造(株)社長江夏順吉が、「本

格焼酎」という呼称を提唱。1971年の「酒税の保全及び酒類業組合等に関する法律施行規則」の改正で、表記可能となったことが「本格焼酎発祥の地」の由縁となっています。

現在、市内には焼酎メーカー年間売上高トップ(平成24年・25年)となった霧島酒造(株)をはじめ、(株)都城酒造、大浦酒造(株)、柳田酒造(株)があり、原料や品質、製造法にこだわり抜いた焼酎造りが脈々と受け継がれています。

Insatiable commitment to produce the beloved shochu
 Rivaling Kagoshima Prefecture and Oita Prefecture, Miyazaki Prefecture is recognized nationally as a prominent producer of shochu (Japanese liquor). Junkichi Enatsu, the second-generation President of the famous Kirishima Brewery, created the term "Honkaku Shochu" (classic Japanese liquor) and Miyakonjo has become known as the "birthplace of Honkaku Shochu". Miyakonjo has four shochu breweries: Kirishima Brewery, Japan's largest producer by sales in 2012, Miyakonjo Brewery, Oura Brewery, and Yanagita Brewery. Each use raw materials, quality controls, and manufacturing techniques passed down through the generations.



●都城弓まつり 全国弓道大会

A city where everyone can enjoy sports

スポーツを 楽しむまち

市民の誰もが「いつでも、どこでも、いつまでも」
スポーツに親しめる環境づくり



●ラグビーフェスタ



●サッカークリニック

子どもから高齢者まで 生涯スポーツ

スポーツは、青少年の健全育成や心身の健康増進など、市民生活において多方面にわたる役割を担っています。市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、目的に応じて「いつでも、どこでも、いつまでも」安全に楽しむことができる生涯スポーツ社会。この実現に向けた環境の整備を推進し、市民一人一人が健康な体と豊かな心を育むことができるように取り組んでいます。

A lifelong enjoyment of Sports, from children to seniors
Sports not only contribute to maintaining the physical and mental health among developing youth, but also ensures in the creation of a dynamic society and economy. Regardless of physical ability, age, technique or goal, we promote the development of a society which allows for everyone to have fun participating in sports, whenever and wherever!

A city which supports a rich culture

豊かな文化を 育むまち

人と人が触れ合い、磨き合う、
心豊かで笑顔あふれるまちづくり



●都城市美術展



●都城市総合文化祭

芸術文化の振興、 伝統文化の保存と継承

総合文化ホールを拠点として、さまざまな芸術文化に触れる機会を提供しています。また、小・中学校などに出向いて公演などを行い、創造性や芸術性豊かな人材の育成に取り組んでいます。さらに、各文化団体との連携や市民の参画により、地域を越えた芸術文化の交流を推進するとともに、伝統文化の保存・継承に取り組んでいます。

Promotion of fine arts, preservation and succession of traditional culture
Various opportunities to experience Art and Culture are provided through the Miyakonojo Arts and Cultural Hall (MJ Hall). Performances and events held at Elementary and Middle Schools encourage such interaction, inheritance, and development of these fields among youth. In cooperation with all citizens and cultural associations, efforts are being focused towards the preservation, exchange and transmission of fine arts and culture from our generation to the next.



スマイルリレー みやこのじょうの夢 芸術文化に触れる機会を提供

都城市総合文化ホールでは観賞事業、創造事業、普及事業、交流事業、情報事業の5つを柱に、幅広い芸術文化事業を行っています。市民が脚本から役者までを務める演劇をはじめ、年に一度開催する「MJフェスタ」など、市民参加型の企画も定着。今後はさらにイベントを充実させ、PRにも力を入れながら、市民の皆さんに芸術文化を楽しんでほしいと考えています。

(公財)都城市文化振興財団

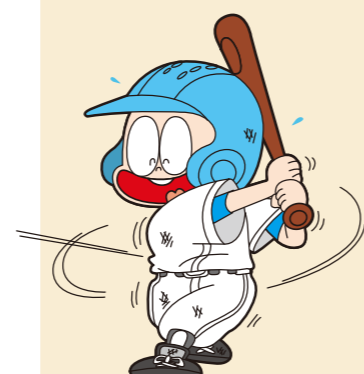
●取違 真希さん



都城市は、スポーツ・文化活動の合宿を支援します！

アマチュアのスポーツ団体に加えて、文化活動の団体を対象に、当市内で合宿をすれば、最大30万円を助成します。この制度を活用して、競技力の向上などに役立ててください。

| | |
|------|---|
| 対象団体 | 市外のアマチュアスポーツや文化活動団体 ※国内外全ての団体が対象 |
| 補助条件 | ・市内の宿泊施設での宿泊数が延べ30泊以上であること。 ・原則、市内のスポーツ施設や文化施設を利用して練習を行うこと。 |
| 補助額 | 上限額30万円 |
| 計算方法 | 参加者の延べ宿泊数に次の金額を乗じた額 (1)民間宿泊施設を利用した場合……………1泊1人当たり2,000円 (2)公共宿泊施設を利用した場合……………1泊1人当たり 500円 ※ただし、(2)については、宿泊費を除く1泊当たりの宿泊料金が税込み1,000円以上の場合 |
| 特典 | 地場産品の提供などの支援 |



スマイルリレー みやこのじょうの夢

スポーツ活動の育成と発展をサポート

小・中学生、高校生から大人まで、年間36のバレーボールの大会を主催しています。平成24年、『天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会』の会場となったのははじめ、全日本や国際レベルの合宿、大会の誘致を実現させてきました。今後も、施設の充実とともに、より多くの人たちにバレーボールに親しんでもらえる環境づくりに取り組んでいきます。

都城地区バレーボール協会 理事長

●桜田 和広さん



肉と焼酎のふるさと

都城

都城市は、全国有数の畜産基地であるとともに、全国一の出荷額を誇る酒造メーカーが立地する、肉と焼酎のふるさと。これらを柱に、当市の魅力を全国にPRしています。

都

城市は、肉用牛、豚、鶏ともに*日本一の産出額を誇る畜産のまちです。

当市の牛、豚、鶏は、雄大な霧島連山の自然に囲まれた大地で生まれ、清らかな水、良質な飼料、農家の温かい愛情が注がれ、我が子のように大切に育てられています。

牛肉は、松坂牛や神戸牛のルーツ「但馬牛」の優秀な血統の改良を重ねながら脈々と受け継ぎ、きめ細やかな霜降りと色艶の良い柔らかい肉質が特徴です。また、豚肉は、厳選した穀物に酵母、乳酸菌などを加えた飼料を

与え、良質で均一な品質の肉質が特徴で、多くのブランド豚が確立されています。鶏肉は、商社や飼料会社などと農家が契約し、それぞれの銘柄に合わせて、独自の飼料や飼育方法で生産されています。そして、日本一の出荷額を誇る焼酎は、霧島山麓で育つサツマイモや地下深くからくみ上げられた清らかな水などを原料に作られ、全国の愛飲家に愛されています。市内4つの蔵元が生み出す、吟味を重ねた味わい深い個性的な焼酎は、たくさんの人たちを魅了し続けています。

*農林水産省「平成18年の業産出額」統計調査

Meat and Shochu are Miyakonojo's Pride

Miyakonojo City in Miyazaki Prefecture is Japan's No.1 town for beef, pork and chicken production and stockbreeding.

Farmers carefully raise Miyakonojo's cattle, pigs and chickens within Miyakonojo's beautiful nature.

Miyakonojo Beef is characterized by its tenderness and being a marbled meat, bred from the famous "Tajima-gyu cattle", the root of Matsusaka Beef and Kobe Beef. Thanks to its nutritious engineered feed, Miyakonojo Pork is known for its top quality and Miyakonojo Chicken is raised in accordance to strict rules set by industry-leading brands.

The largest Shochu company in Japan is located in Miyakonojo, with Shochu's raw materials, such as sweet potato and water, also coming from Miyakonojo. There are 4 Shochu Brewers in Miyakonojo, each with a unique and delicious flavor and fans all over Japan.



都城のふるさと納税

ふるさと納税を利用して当市を応援していただいた皆さんに、「肉と焼酎のふるさと・都城」の魅力あふれる特産品をお贈りします。平成26年10月には、それまでのふるさと納税をリニューアル。日本一の「肉と焼酎のふるさと」自慢の品揃えと全国トップクラスの還元率で、たくさんの人たちに当市を支援してもらっています。



豊かな大地と
名水が育む
都城の誇り

都城の軌跡

営みの興り

約 3万年前に起きたとされる始良カルデラの大爆発。このとき生じた火砕流の堆積物は南九州一帯に及び、都城盆地の谷を埋め尽くして広大なシラス台地を形成しました。

当時の生態系に壊滅的打撃を与えたこの噴火から千年前後が経過し、都城盆地でも人々の活動が再開したと推定されます。約1万3千年前頃になると、氷河期が終わりを告げ、気候が次第に暖かくなっていく中で、当地でも人々が定住生活を営んでいたことが、王子山遺跡（山之口町）の発掘調査から明らかになりました。

弥生時代の集落跡は、市内各所で発見されており、土器や石

器などに加えて、鉄製の道具や炭化した当時の米も出土しています。

古墳時代には、市内北部で古墳が造られ、前方後円墳も確認されています。また、5世紀から6世紀にかけて、九州東南部に多くつくられた地下式横穴墓と呼ばれる墓も数多く発見されています。

奈良時代から平安時代の律令体制下、当地は日向国諸県郡に属し、都と諸国を結ぶ官道が通り、「島津駅」と「水俣駅」が置かれていました。国指定史跡の大島島田遺跡は、この頃にこの地方を治めた有力者の居宅跡です。

島津家

発祥の地



11 世紀になると、大宰府の役人平季基が都城盆地の荒れた土地を地元の豪族たちとともに再開発して、関白藤原頼通に寄進しました。これが「島津荘」の始まりです。

鎌倉時代、この島津荘の下司職（荘園の管理人）に任命された惟宗忠久が、荘園の名をとって「島津」と名乗るようになりました。当市が「島津家発祥の地」といわれる由縁がここにありま

16世紀の中頃には、北郷忠相が都城盆地内のほぼ全域を掌握し、曾於郡（鹿児島霧島市）や恒吉（鹿児島県曾於市大隅町）にまで勢力を拡大しました。

江戸時代、都城盆地は鹿児島藩に属し、都城島津氏が治める私領と、藩が直接治める山之口、高城・高崎・勝岡の郷がありま

明治4年の廢藩置縣後に行われた改置府県により、大淀川以南の日向国と大隅半島を県域とする都城県が誕生しました。しかし、同6年1月、日向国一円を宮崎県とする布告が出され、都城県は僅か1年余りでの歴史を終えました。同9年には宮崎県は鹿児島県に併合されましたが、同16年に再び宮崎県が置かれることになり、都城市域は宮崎県に属することになりました。

明治22年5月、町村制の施行により都城盆地には、1町10村が誕生。その後、数回の合併を経て、現在の都城市に至っています。

室町期から戦国期の都城盆地には、北郷・樺山・高木・和田・伊東・北原・新納・島津豊州家などの力を持った領主が割拠



王子山遺跡集落
旧石器時代の剥片尖頭器や縄文時代草創期の集落跡が見つかり、約2万年前以降に都城盆地で人々が暮らしていたことが分かりました。



都城盆地の古墳
高崎塚原古墳群にある都城盆地最大の前方後円墳。この他、牧ノ原古墳群（高城町）、志和池古墳群（上水流町、下水流町、野々美谷町）、山之口古墳群など、市内にはたくさんの古墳が点在しています。



築池地下式横穴墓出土須恵器

南九州地方の初期の須恵器や、朝鮮半島系の陶質土器の展開を把握する上で有益です。また、古い段階の地下式横穴墓の土器供献を考える上で貴重な資料です。



大島島田遺跡

最盛期の建物跡は県内でも最大級。池状遺構や四脚門と推定される門跡などが、見つかっています。平安時代前期の有力者の邸宅跡と推定され、全国的にも注目されています。



祝吉御所

Shimazu's Birthplace

In the 11th century, Suemoto TAIRA, a government official in Dazaifu (the imperial city governing Kyushu at the time), with powerful local families, redeveloped Miyakonojo's wasteland and offered it to the Kanpaku (the senior regent, commonly referred to as the Emperor's Chief Advisor, and is similar to a modern day Prime Minister), Yorimichi FUJIWARA. This was the origin of 'Shimazu-no-Sho', Shimazu's Manor.

During the Kamakura Period (1185-1333), Tadahisa KOREMUNE was appointed as Administrator of Shimazu's Manor and changed the family name to the Manor's name: Shimazu. This is why Miyakonojo is called the birthplace of Shimazu's Manor.

Early in the Nanboku-cho Period (1334-1392), commonly known as the Northern and Southern Courts Period, Kaneshige KIMOTSUKI, was on the side of the Southern Courts. Later, Suketada SHIMAZU, the 6th son of the 4th head of the Shimazu Family, Tadamune SHIMAZU, received land called Hongo from the Shogunate family. Following this, Suketada changed the family name to the land's name: Hongo. Suketada's son, Yoshihisa, built a castle in a place called Miyakojima and named the castle 'Miyakonojo'. This is the origin of Miyakonojo.

Around the middle of the 16th century, Tadasuke HONGO, expanded his power to include almost the whole area of Miyakonojo Basin and parts of modern day Soo City and Kirishima City in Kagoshima Prefecture.



都城跡



薩摩邸



日和城



島津寒天工場跡



宝塔の五輪塔



観音瀨水路



●松梅孔雀図屏風 (左隻)



●松梅孔雀図屏風 (右隻)



●高麗虎狩図屏風

6曲1双からなる屏風。江戸時代前期に活躍した都城の絵師、永井麿竺の作と伝えられるこの屏風は、全体を金雲で縦3段に区切り、右から左に朝鮮出兵と、文禄4年(1595)3月に朝鮮半島昌原の虎狩の様子が描かれています。屏風には虎狩の指揮を執った島津義弘と忠恒の名前のほかに、勇猛果敢に戦った人物の名前が記されています。なお、この屏風とほぼ同じ図様で絵巻物に仕立てられている作品が現在2点(九州国立博物館と鹿児島県立歴史資料センター黎明館所蔵)あることが分かっています。



●琉球国王宛朝鮮国王国書

この史料は、西暦1500年に書かれた、日本に残る朝鮮国王の国書としては最古のものです。内容は「琉球の船が朝鮮の南海域で遭難し、10人の乗組員のうち4人は生存しているのを日本に送還する」というものです。この史料は、寛延3年(1750)に都城島津家の家臣であった向井家から都城島津家へ献上されたものです。

都城島津伝承館



都城島津家から寄贈された約1万点の史料を収蔵、展示する施設。エントランスホール、展示室、史料調査室、交流室を備えています。展示室では、1年を通じて収蔵史料展や企画展、特別展を開催し、都城島津家史料や国宝級史料の展示や紹介を行っています。



●雪中竹林小庵図



●茶地龍文陣羽織 (22代島津久倫)



●玄武時鞍轡



●丸に十字紋鞍轡



●都城島津邸本宅

明治12年(1879)建設の旧邸を、昭和10年(1935)11月の陸軍特別大演習に合わせて改築。昭和47年(1972)にも改装が行われ、その翌年、全国植樹祭に来県された昭和天皇・皇后両陛下が宿泊されました。現在も、男爵のくらしと両陛下が宿泊された部屋の様子を再現しています。

都城島津家と都城

都城島津家は、南北朝時代に、**都**將軍足利家から北郷(現在の都市西部地域)の地を与えられ、島津家から分家して「北郷」を名乗ったことに始まります。16世紀の中頃には、8代北郷忠相が都城盆地を統一。明治維新まで都城の領主としてこの地を治めました。北郷家は江戸時代の寛文3年(1663)に藩の命令で名字を「島津」に戻し、それ以後、「都城島津家」と呼ばれました。都城島津家は、明治以降も大正元年(1912)12月に家の決まりである「家範」をつくり、末永く都城の人々と親しく交流していくことなどを定めています。これに基づいて都洲島津奨学金を創設するなど、地域の人材育成、発展に努めました。このように都城島津家との深い関わりを抜きに、都城地域の歴史を語ることはできません。

Shimazu Family of Miyakonono and Miyakonono

By the middle of the 16th century, Tadasuke Hongo, the 8th head of the Hongo Family, unified the Miyakonono Basin and the Hongo Family ruled as a Feudal Lord until the Meiji Restoration (1868-1912).

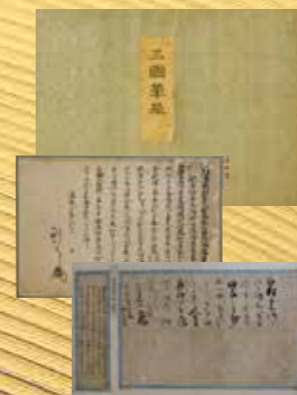
The Hongo family was ordered by the Kagoshima Feudal Domain to change its name back to Shimazu during the Edo Period (1603-1868). It has been called the 'Shimazu Family of Miyakonono' ever since.

In the First Year of Taisho (1912), the Shimazu Family of Miyakonono made a rule, what the family calls 'Kahan', to forever have a friendly relationship with the people of Miyakonono. Since then the family has been engaged in the expansion and development of Miyakonono and its citizens, including setting up the Toshu-Shimazu Scholarship.

It is said that a history of Miyakonono cannot be made without the close association with the Shimazu Family of Miyakonono.



●庄内地理志



●三国筆苑



●鉄鎧地南蛮胴具足 (8代島津忠相)



●本小札萌黄糸威一枚胴具足 (17代島津忠長)

都城が誇る

伝統的工芸品

都城の豊かな自然が育んだ素材と
長年にわたり受け継がれてきた
伝統の技を生かした工芸品

Traditional Crafts, utilizing raw materials grown within Miyakonojo's abundant natural environment, developed through long-standing techniques, and passed down through many generations.

都城木刀

県の伝統的工芸品

一本二本、手作業で
仕上げる伝統の技

薩摩 薩摩現流の太刀を見本にし
て、江戸時代以降に作られ
るようになったと伝えられる都城
木刀。全国で生産される木刀のほ
とんどを都城産が占めています。

実用品としての木刀だけではなく、
史実にもある古い流派の木刀
や、黒檀など高級材の木質を生か
した工芸的な木刀も製作。まさ
に長年培われた伝統の職人の技が
息付いています。



都城
匠の木刀
Miyakonojo
Artisan

Protecting traditional techniques
Based off of the Satsuma-Jigenryu long sword, the wooden swords produced in Miyakonojo since the Edo period closely follow this design. Currently, almost all Japanese wooden swords are produced in Miyakonojo. Beyond the production of domestic articles, the wooden swords produced from these long-standing traditional schools are manufactured using an exceptional quality of timber. A long history of cultivated technique lives and thrives within with work of these artisans. A characteristic trait of lathe wood working is the warm, round and glossy finish achieved through the texture and grain of the wood.



宮崎 ロクロ工芸品

県の伝統的工芸品

艶やかで
温もりを感じる逸品

木 の風合いや木目を生かし、
艶やかで丸みを帯びた温も
りのある姿が特徴のロクロ工芸。
ケヤキやクワを材料に職人の熟
練した技から生み出されるロクロ
工芸品は、製材から乾燥、仕上
げ、塗りなどの工程を経て、艶や
かに仕上げられます。近年は、そ
の技を生かしワイングラスや皿な
ど新たな製品も作られています。



都城
匠の紬
Miyakonojo
Artisan

本場大島紬

国の伝統的工芸品

伝統の技が織り成す
しなやかな肌触り

草 木や泥で染めた絹糸を緋柄
に織る技法は、昭和20年代
に鹿児島県奄美大島から伝わった
本場大島紬の特徴の一つ。亀甲緋
や十字緋、幾何学模様など、縦糸
と横糸を織り合わせながら軸柄を
出す高度な技法が用いられ、繊細
で鮮やかな緋が大島紬の気品と温も
りを表現しています。

Traditional weaving
The technique of weaving silk thread which has been dyed with tree bark and mud into a splash pattern was introduced from the area of Amami Oshima, Kagoshima Prefecture during the Showa Period between 1945 and 1955. Authentic silk cloth from Oshima is used in combination with sophisticated weaving techniques to produce a variety of geometric patterns including the tortoise shell, and cross pattern.



都城
匠の器
Miyakonojo
Artisan

A beautiful item to warm you up
Born from the skilled hands of artisans, utilizing natural materials including the Japanese Zelkova and Mulberry trees, high quality wooden go-stone containers (Japanese chess game) are manufactured via a process of sawing, drying, and painting. In recent years, the same process has been applied to the production of new goods such as wineglasses and plates.



都城大弓

国の伝統的工芸品

都城
匠の弓
Miyakonojo
Artisan

受け継がれてきた技を後世に
強靱での中力に優れた都城大弓の魅力

艶 のある表面と、緩やかな曲
線。その美しい姿は、ま
るで美術品のように見る人をくぎ
付けにします。「都城大弓」は、
国の伝統的工芸品に指定されてい
る、当市を代表する工芸品です。

江戸時代、薩摩から楠見氏とい
う弓師が伝えたといわれ、当市に
は材料となる真竹が豊富だったた
め、製作が盛んになりました。現
在、全国の竹弓生産のほとんどを
占めており、8人の国の伝統工芸
士を中心に、伝統の技が受け継が
れています。都城大弓の特徴は
「成り(弓の形)。都城大弓は、湾
曲の大きい「薩摩成」の系統であ
りながら、湾曲が深過ぎず浅過ぎ
ないため、扱いやすいと弓道家か
ら高い評価を得ています。

横山黎明さんは「横山黎明弓製
作所」の3代目。200以上ある
弓づくりの工程を、竹の切り出し
から全て手作業で、一人で行って
います。



国の伝統工芸士 都城大弓 横山博志(黎明)さん

The charm of a Miyakonojo-daikyū (big bow)
A known symbol of Miyakonojo, as well as a designated traditional Japanese handicraft, the Miyakonojo long bow is considered a work of art by those who are fascinated by and drawn to its beautiful shape. Production of these bows flourished during the Edo Period, fueled by an abundant supply of giant bamboo harvested in Miyakonojo. Currently, the majority of national bamboo bow production is centered within Miyakonojo, undertaken by 7 professional artisans trained in this traditional craft. Miyakonojo long bows have received high praise from Japanese archers for its finely-tuned curvature and ease of use. Mr. Reimei Yokoyama is the third representative of the Yokoyama Reimei bow factory. The construction of over 200 professional-grade archery bows from the initial cutting of bamboo, to the manufacturing of sharp arrows is carefully conducted one by one, entirely by Mr. Yokoyama. "I would like to continue the time-honored tradition of bow making in order to please those who use these authentic products," explains Yokoyama. The protection of this tradition and inheritance of these techniques play a vital role in the preservation of Miyakonojo long bow production, as well as the transmission of its beauty.

～都城地域の伝承の響きと華麗な舞～

市内各地に伝わり、その土地の祭礼や行事などで行われる芸能があります。

揚げ馬・棒踊り・奴踊り
カラクリ(綱渡り) 花火・兵六踊り
虚無僧踊・大太鼓踊りなど

揚げ馬

Ageuma

島津家の祭神であった諏訪神社で行われた神馬献上の祭礼をまねたものと伝えられていて、山之口町花木、高城町穂満坊・桜木、高木町の諏訪神社(南方神社)で数年に1回開催されます。



民俗 芸能

Hometown entertainment of Miyakonojo

熊襲踊

Kumaso Odori ●11月

庄内町の諏訪神社に奉納される県指定無形民俗文化財。景行天皇の頃、この地域で住民を苦しめていた熊襲族の長・熊襲武を、天皇に命じられた大和武尊が征伐し、それを喜んだ住民たちが身近にあったワラなどを身にまとい、竹編みのバラを叩いて転げ回って踊ったのが始まりといわれています。

先人の思いを
今に伝える



山之口弥五郎どん祭り

Yamanokuchiyagorodon Matsuri ●11月

山之口町の野正八幡宮で行われる、国選択・県指定無形民俗文化財。身の丈約4mの弥五郎どん人形を先頭に、御幸行列が参道を練り歩きます。

～お正月の伝統行事～

鹿児島藩時代から伝わる子どもの健やかな成長を願う「ななとこ」や一年間の無病息災を願う「オネッコ」、家内安全と五穀豊穡を祈願する「モグラウッ」「カセダウイ」が市内各所で行われます。



山之口麓文弥節人形浄瑠璃

Yamanokuchifumoto Bunyabushi Ningyouzururi

●3月・6月・9月・11月

参勤交代で江戸に上った山之口麓の郷土たちが、持ち帰って伝えたといわれる文弥節人形浄瑠璃。300年前から伝わる古い形の芸能は、全国でも4カ所のみ伝えられており、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。山之口麓文弥節人形浄瑠璃資料館では年4回、定期公演を開催しています。

受け継がれる地域の心

The heart of the area inherited



盆地まつり

Bonchi Matsuri ●8月

中心市街地の国道10号周辺を会場に行われる当市の最大の夏祭り。そらい浴衣や法被姿の約2,000人が、正調安久節など、祭りを盛り上げる曲に合わせて踊りを披露しながら、練り歩きます。

昔から守られ受け継がれてきた伝統行事や、新しい風を吹き込む催しなど、都市には人々の絆を育み、笑顔を生み出す祭りやイベントがあります

祭

Festivals and Events of Miyakonojo

新旧が融合し、豊穡への感謝と祈りを捧げ、人々が集う新しい波

Miyakonojo offers a variety of long-standing traditional events, as well as new functions and festivities which foster a sense of connection and happiness between people.



六月灯

Rokugatsudo ●7～8月

旧鹿児島藩の各地で行われる、無病息災や五穀豊穡を祈る夏祭り。都城盆地に夏の到来を告げる風物詩となっています。7月に入ると、毎日のように市内のどこかで花火が打ち上げられ、華やかな露店の灯りが並びます。



おかげ祭り

Okage Matsuri ●7月

あらゆる恵みに感謝する気持ちを込めて名付けられたこの祭りは、神社宮の六月灯に合わせて、毎年7月8日・9日に開催されます。9日の「本祭り」では、勇壮な御輿の宮入りが披露され、多くの人出でにぎわいます。

島津発祥まつり

Shimazu-Hasho-Matsuri ●11月

「島津家発祥の地」都城で、地元歴史や文化をもっと多くの人に知ってもらおうと2008年に始まった祭り。戊辰戦争で活躍した都城一番隊や子ども武者などの行列が練り歩く明道館パレードを中心に、出陣式、島津荘園など、都城島津の歴史を今に伝えます。



| 12月 December | 11月 November | 10月 October | 9月 September | 8月 August | 7月 July | 6月 June | 4月 April | 3月 March | 2月 February | 1月 January | 年間イベントカレンダー EVENT CALENDAR |
|---------------------------|---|----------------------------------|--|------------------------------|--------------|-----------------------------------|-----------------------|--|-----------------------------------|--------------------------|-------------------------------|
| ゆく年くる年・年越し星見会 (たちはな天宮) | 山之口弥五郎どん祭り 島津発祥まつり 南九州ハンゲグライダー大会 山之口麓文弥節人形浄瑠璃定期公演 熊襲踊奉納 | 都城焼肉カーニバル 地場産業まつり 東目街道秋まつり | 山之口どんとんまつり 山之口麓文弥節人形浄瑠璃定期公演 かかしフェスティバル | 祇園祭 盆地まつり 高崎夏まつり 高城観音池まつり | おかげ祭り 六月灯 | 高崎町どろんこパレーボール 山之口麓文弥節人形浄瑠璃定期公演 | 庄内川のこいのぼり 早水あやめまつり | 東霧島神社例大祭 さくらフェスタ高城 都城弓まつり全国弓道大会 山之口麓文弥節人形浄瑠璃定期公演 都城もちお桜まつり | 南九州駅伝競走大会 商家のひなまつり(旧後藤商家交流資料館) | ななとこ オネッコ モグラウッ カセダウイ | |



かかしの里パークゴルフ場



観音瀬



一堂ヶ丘公園



道の駅 山之口



弥五郎どんの館



あじさい公園



人形浄瑠璃資料館



たちばな天文台



母智丘公園



関之尾 緑の村



早水公園

都城の景色



Scenery of Miyakonojo

都 城市には、幅40^{km}、高さ18^m、^山にも及ぶスケールを持ち、「日本の滝100選」にも選ばれた関之尾滝、霧島山や都城のまちを一望でき「夜景100選」に選ばれた金御岳公園、そして「日本一星空の美しいまち」に7回選ばれたたちばな天文台などがあり、豊かな大自然を満喫することができます。また、日本さくら名所100選に選ばれた母智丘公園や観音池公園の桜、早水公園のあやめ、山之口あじさい公園のあじさいなど四季折々の花が、訪れる人の目を楽しませてくれます。

Surrounded by the magnificent bounty of Mother Nature, Miyakonojo features such sites as Sekino-o Falls, listed as one of Japan's 100 greatest waterfalls, Kanemidake Park, selected for having one of Japan's 100 greatest night views, as well as the Tachibana Astronomical Observatory, selected seven times for being the town with the most beautiful starlit sky in all of Japan. In addition to these wonderfully beautiful locations, a variety of seasonal flowers can be enjoyed by visitors to Miyakonojo including the cherry blossoms of Mochio Park and Kannon-ike Park, as well as the Irises featured at Hayamizu Park.

霧島ジオパーク

ジオパークとは、世界的にも珍しい貴重な地質や地形に触れ、学ぶことのできる自然公園。

世界ジオパークの認定を目指す

雲仙・瀬戸内海とともに日本初の国立公園に指定された霧島山は、20余りの多様な火山と火口湖からなります。また、雄大な景観と1300種にも及ぶ植物、そして神話と伝説を持ち、古くから信仰の対象となった山々です。霧島山の持つ豊かな資源を地域振興に生かすため、平成20年10月に霧島ジオパーク推進連絡協議会を関係市町と設立。平成22年9月14日には、霧島山一帯が日本ジオパークに認定されました。そして、現在、世界ジオパークの認定に向けた取り組みを進めています。



関之尾滝 Sekino-o Falls



関之尾滝の上流にある世界有数の**罅穴群**は、霧島山より湧き出る清流が、小石や岩石の破片を回転させて溶結凝灰岩の川床を削り、長い年月をかけ浸食したものです。



高城郷土資料館



都城歴史資料館



金御岳公園



旧後藤家商家交流資料館



観音池公園



道の駅 都城

幸せ上々、みやこのじょう

日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統



都城市市勢要覧

都城市総合政策部秘書広報課

平成27年(2015)1月発行

〒885-8555 宮崎県都城市姫城町6街区21号
TEL:0986-23-2111 FAX:0986-25-7973
<http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp>
E-mail info@city.miyakonojo.miyazaki.jp



都城市ホームページ